こんなことします!(活動計画)

●ひまわり運営委員会 10月6日(月)

月1回の開催で、ひまわりの子ども支援活動の具体的な計画を協議・実行します。

●社会科見学(サンシャイン水族館) 10 月 17 日(金)

JA 横浜さんの「子どもの未来支援援助」を受け、子どもと保護者ら総勢30人でサンシャイン水族館(池袋)へ出かけます。プラネタニウムで宇宙に思いをはせ、また水族館では海で生きるさまざまな生き物について学んできます。こうした社会科見学は、公共の場でのマナーを学ぶ機会として毎年積極的に行っています。

●ヨガ教室 10月20日(月)

ひまわりの専門部 会が主体となって、近 くの施設で月に1度ヨ ガ教室を開きます。 ボランティアや保護 者、子どもたちが参加 しています(部外者の 方の参加も歓迎)。



9月は地域のヨガ愛好者も参加されました

●鶏と陸ガメのフェスティバル 10月22日(水)

月 1 回、鶏と陸ガメを畑に開放します。鶏と陸ガメにとっては心待ちにしている日です。子ども達も動物とのふれあいに心が和みます。

●ボランティア研修会 10月25日(土)

全ボランティアと全保護者を対象に月1回開催 され、子どもの個性や特性の理解と支援の方法 を研修します。

●ふれあいレストラン 10月25日(土)

ひまわり版「こども食堂」です。フードバンクかながわさんから提供された食材を使用してボランティアと子ども達でランチを作り、会食します。10

月のメニューは、ひまわり野菜を使った秋の豚汁、炊き込みご飯など季節の旬の物を使ったメニューを予定しています。



8 月メニュー ひまわり野菜のトマト煮、 鶏の唐 トげなど

ボランティアの先生を紹介します

32

渡辺二三子先生

渡辺(二)先生は本校開校の準備の時から 15 年も活動のボランティアです。 校内では"フミコ先生"と呼ばれている先生です。

高校時代は新体操の選手としてインターハイ出場の経験もあり、古希を過ぎた現在も 元気はつらつのボランティアさんです。元小学校教員でもあります。

ラジオ体操が得意で、ひまわりで需要があれば体操系の指導にあたります。

現在は、裏方の経理事務に専念する傍らヨガの有資格者として、月1度開催される「ひまわりヨガ教室」の講師としても活躍しております。

生来の「子ども好き」の性格を生かして本校での年齢を超越した活躍が期待されます。 川崎市在住 校長夫人

ひまわりの 現況 ●通学制 開校日:月・水・金・土/10時~14時30分(ひまわり学園9:00~12:10)

●通信制 オンラインを通してゲームから学習支援までひまわり目線の支援を行います。 支援時間と内容は、本人と相談の上で行います。

●現 況 生徒数:(約)60名/ボランティア:(約)20名

時程:9時開門(学習)、12時10分昼食(食後レク)、12時55分(校長タイム)、

●内 容 1 時 20 分 (フィールドタイム)、2 時半 (帰りの会) (下校)

みどりの学校ひまわり/〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台 80 問い合せ先 090-9201-3992 (渡辺)

ボランティアスクール 「横浜みどりの学校ひまわり」



ふれあい

学校だより 2025年10月号 No.73

こんな学校があってもいいかも (既存の教育にとらわれない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、14年前に開設されました。

青春回顧

校長 渡辺 正彦

1963年は、日本で初めてのオリンピック開催を翌年に控えて町は活気に溢れておりました。私が住んでいた原宿は国立競技場からも近いために新たな道路や公園が建設されるなど大きな変貌を遂げておりました。当時、高校2年生の私は、山登りに夢中で中央線の大月駅までの定期を買って三ツ峠山の岩登りに通い続けました。それだけでは飽き足らず親には学生服を着て通学をするふりをして新宿で小田急線に乗り換えて渋沢駅のコインロッカーで着替えて丹沢の山々を歩きまわり、学生服に着替えて何くわぬ顔で帰宅することもありました。その年の暮れに冬休みを利用して山登りのための交通費稼ぎに渋谷で歳暮の贈答品を自転車で届けるアルバイトをしました。

会社名はたしか「メッセンジャー」。

1件につき 50 円から100 円の報酬でした。私の受け持ち地域は渋谷駅から京王井の頭線で 1つ目の「神泉駅」周辺でした。この地域は今でこそ立派な邸宅が立ち並ぶ住宅街ですが 62 年前は、住宅と商店が混在する普通の町でした。暮れも押し迫るなかで配達をしていると点在する飲み屋さんから「男なら男なら未練残すな昔の夢に」と酔った客の歌が聞こえてきました。まだカラオケなど無い時代で店の防音装置も皆無でしたのでその歌声は道路にまで響きわたっておりました。

その日の最初の配達依頼は、「渋谷区福祉事務所」から女性宅へのものでした。

やっと探しあてた家は古い平屋の一軒家でした。以前に商店を営んでいたのか全面がガラスの引き戸になっておりました。来意を告げるために大声で何度も呼ぶも返事はありませんでした。やがて隣人が出てきて、その住人が高齢の老人で一人暮らしであること、病気で入院していることを教えてくれました。「高齢女性」「一人暮らし」「入院」「福祉事務所」「年の瀬」のワードが高校生の私の頭の中を巡りました。高齢で一人暮らしの女性のために福祉事務所が年越しの品物をプレゼントしたのに自分は渡す事ができなかったという無力感が高校生だった私の全身を駆け巡りました。

山登りに夢中だった高校生が社会に目覚めたあの日、今でも「男なら」の曲を耳にすると 62 年前の高校生のセンチメンタルな自分が帰ってきます。

78才になった今、あの時のセンチメンタルがまだ身体のどこかに残っていて、それが 78 年の人 生経験と組み合わさって、現在の活動である「マイノリティーの子ども支援」に繋がっているのか も知れません。

人生の原点は青春にあり!

こんなことしました!(活動報告)

オルタナティブスクール開校

今年8月、みどりの学校ひまわりとは別にオルタナティブスクー ルを創設しました。1ヶ月間の準備期間(体験期間)を経て9月から ひまわりの校舎で本格的にスタートしました。

ひまわりが休校の火曜日・木曜日・土曜日に開いています。学習 意欲の高い子どもたちが対象で、小学校低学年から中学3年牛の 男女8名が在籍しています。国語、算数、英語の基礎学習に加え、 子どもたちが得意な分野の研究の時間も用意しているので、子ど もたちは夢中になって取り組んでいます。自由度の高いカリキュ ラムは牛徒にとても好評です。



助成金を活用して快適な環境づくり

ひまわりでは子どもたちが安心・安全で 過ごせるように、環境の整備にも取り組ん でいます。この度はパルシステム共済連 「ささえあい基金」を活用して、子どもたち のくつろぎの場所である屋根裏部屋の直 射日光遮断工事、エアコンの取り替え工 事を行いました。また学習室のエアコン設 置、入口ドア工事、雨漏り防止工事などを 実施し、昨年より格段に過ごしやすい環境 を整えることができました。



屋根裏に省エネエアコン





ドアが引き戸に

学校で悩んでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、学習に集中できないなどの 子どもたちを積極的に支援します。

支援者は現役教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から 子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。 体験期間の2週間は無料です。



お問い合わせは

090-9201-3992 渡辺まで

本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした青葉区社会福祉協議会の [あおばふれあい助成金]の配分を受けて活動しています。



漢字道場・算数道場がスタート

9月中旬から、ひまわりで過ごす子どもたちの基礎学習 能力を高めるべく「漢字道場」「算数道場」を始めました。

漢字道場は、国の漢字能力検定で公開されている試験を 取り入れた読み書きの内容で、50段から始め1段到達を目 指します。算数道場も同様に50段から1段を目指して取り 組んでいきます。明確な目標を設定し、子どもたちのやる気 を育んでいきます。





助成金を活用してパソコンを購入

この度公益推進協会[こどもオポチュニティーズクラブ基金] を活用し、パソコンを購入いたしました。

このパソコンは、子ども達の学習教材としての利用や事務用 として活用していきます。



農園だより………

猛暑が続きましたが、農園ではオクラ、ナス、ピーマン、ニラが順調に収 穫されています。ししとう、ピーマンの収穫も始まります。これからは玉ね ぎ、白菜、大根の種蒔きを行い、玉ねぎは11月に苗で植え付けします。

子どもたちの野菜収穫もひまわりの活動の一つですが、今夏は猛暑続 きで大幅に回数を減らすことになりました。



ボランティアを募集しています

活動日

月・水・金・十曜日 午前 10 時~午後 2 時 30 分

- 活動内容
- ●子どもの見守り ●学習指導 ●支援金事務
- ●農作業 ●にわとりの世話 (週1回、午前・午後だけも可能)
 - ●保護者や子どものカウンセリング その他



オルタナティブスクールの ボランティア(学習支援)も募集しています 火・木・十曜日 午前 10 時~午後 3 時 30 分 (週1回、午前・午後だけも可能)

ひまわりは、公益財団法人 公益推進協会こどもオポチュニティーズ クラブ基金の助成を受けて運営されております。